

令和 8 年度 3 月運営状況

【利用状況】

①月末登録者 28 名 利用延べ人数 850 名 稼働率 94.5%

長期宿泊者 9 名。宿泊 295 名/279 名、通所 202/279 名、訪問 237 件

②新規登録者 1 名、登録解除 0 名

・居宅ケアマネより利用相談あり、3/19 より新規登録

その他新規相談：1 件（要介護 1 の女性。本人がサービス事業所を変更したくないとの事で利用につながらず）

認定調査：1 名立ち合い

平均介護度は 2.18

3 月の行事 観梅・ドライブ ひなまつり見学

【業務プロセス】

①事故対策についてはヒヤリハット 21 件、事故 2 件。事故に関しては服薬ミスが 2 件あった。要因は職員の確認ミスによるものなので、再度職員に危機管理意識を持ってもらうよう会議にて伝える。

ヒヤリハットの目標件数未達。提出状況が少なくなっているなので、再度意識づけを行っていく。

②感染症については職員家族のコロナ感染報告があり出勤停止にて対応する。施設内への感染はなく職員も感染なく復帰できた。感染予防として部署内研修（手洗い）を実施。職員だけでなくご利用者にも参加していただき全体で予防していくことを伝えた。

③自衛消防訓練

3/20 避難訓練、消火訓練を実施。通報装置、消火器の使用方法について説明し、万が一の際に迅速に対応できるよう指導する。今回消防署立ち合い予定であったが消防署都合によりなしとなる。

3/26 の非常呼集訓練は事前に実施する連絡をしたいなかったため普段より連絡がつかない状況であった。緊急時対応ができるよう意識づけを継続していきます。

④第 6 回運営推進会議

3/25 運営推進会議を開催、ご家族、ご利用者の 2 名が参加。当施設の事業・運営や次年度より料金の一部改訂があること、人事異動により職員が変わることも報告する。また次年度の運営推進員についても引き続きお願いしたいことを伝え、了承していただく。

⑤石岡市介護保険サービス事業者等集団指導

令和 7 年度の他事業所の運営指導の指摘事項について報告がありました。今年度あおいにおいても運営指導があり、書類の確認等行っている所以で適正に対応していきたい。

⑥認知症キャラバンメイト 3/25 1 名参加

【人材育成】

①事業計画策定研修 2 名参加

令和 8 年度の事業計画書を作成するにあたり研修前に事業所の課題についてアンケート実施。生産性・利用者支援向上に向けた行動計画を作成する。

- ②法定研修（義務研修）の実施状況確認不足により未提出者がいた。提出状況を確認し期限内に実施するよう改善を図り、職員の知識向上に努める。

令和 8 年度 4 月運営状況

【利用状況】

- ① 月末登録者 27 名 利用延べ人数 832 名 稼働率 93.1%
長期宿泊者 9 名。宿泊 280 名/270 名、通所 214/270 名、訪問 269 件
- ② 新規登録者 0 名、登録解除 1 名（市内特養入所のため）
包括より新規相談：1 件
（要介護 2 の女性、独居。サービス拒否がある為保留中）
平均介護度は 1.51（要支援 1・2 は 0.375 で計算）
4 月の行事 お花見ドライブ

【業務プロセス】

- ①事故対策についてはヒヤリハット 22 件、事故 2 件。事故に関しては落葉による服薬もれが 1 件あった。脳出血による左半身麻痺があり嚥下機能も低下している。口腔内に残ってしまったことが要因としてある為飲み込み確認をするよう再周知しています。
- ②感染症については体調確認、予防策を講じながら実施、職員、利用者共に感染は無し。感染報告も特になかったが今後も継続し対応していく。都内にではしかが流行しているようなので、注意喚起をする。
- ③4 月からの事業所の体制について総務課と連携し石岡市役所へ書類提出。
- ④物価高騰により納品業者から食材料費の価格変更の通知あり。現行納品しているもので再契約するが 1 日あたり 35 円増（朝 5 円 昼 20 円 タ 10 円）となる。その他食材は施設で購入しているのでロスが出ないように購入し経費の削減を図っている。
- ⑤生産性向上委員会において今後「生産性向上くん」というソフトを活用し課題抽出、目標設定、成果確認を行っていくことになる。介護の業界も業務効率化をすすめながら並行してサービス向上にもつなげていく必要がある。ご利用者満足つなげられるよう見直しを行っている。

【人材育成】

- ①令和 8 年度事業計画、法令遵守、処遇改善手当についての研修に全職員が参加しました。方針や行動計画に沿って取り組んでいくよう確認しています。
- ②新採職員が入職したが学卒ということもあり、社会人としてのマナーや考え方について指導している。介護未経験なので知識、技術面については成長度合いを見ながら指導している。新規・中途採用職員研修と認知症介護基礎研修を受講し基本的な内容について学んでもらった。
- ③人事考課について
職員の育成、成長を目的として実施。情意考課、能力考課について目標と達成状況について確認。自己評価の理由や目標設定についてはまだ理解不足もあり面談しながら確認をした。

会議名：国府あおい 令和 8 年度第 1 回運営推進会議 議事録

日時：令和 8 年月 20 日（水曜日）14：00～14：45

場 所：国府あおい 事務室

参加者：ご利用者代表 地区代表（区長） 在宅介護支援センター職員
石岡市介護保険課課長 法人職員（理事長・管理者）

欠席者：ご利用者ご家族

記録者：井川 朋孝

①年度初めのため自己紹介

②理事長挨拶

③今年度運営推進委員の任命（委嘱状）

運営状況報告書に沿って説明をする。

（別紙 運営状況報告書参照）

3 月・4 月の利用状況・行事関係・リスクマネジメント・感染症について報告

（その他追加報告）

・4 月より料金変更があり（宿泊費、共益費が各 100 円値上げ。）

（質疑応答）

物価高騰について

Q・物価高騰により運営も大変だと思います。補助金などはあるのでしょうか？

A・以前に物価高騰での補助金制度がありました。今後も制度を活用しながら適正な運営を図っていきたいと考えています。

職員の育成について

Q・新採職員が入職しましたが、どのような育成方法なのでしょうか？

A・入職時職員研修があり、介護や医療、就業規則等について講義を行います。その後は介護現場にて直接ご利用者と接しながら介護技術について指導をしていきます。業務を習得するまでにはある程度の期間を要するので進捗確認をしながらすすめていく予定です。

事故・ヒヤリハット報告について

Q・ヒヤリハットや事故報告書の共有についてはどのように行っているのでしょうか？

A・毎月 1 回事故対策会議を事業所内で行っています。ヒヤリハット報告書を多く提出することで職員にリスクに対する意識を持ってもらい、介護事故が起きないように利用者対応をしている状況です。

生産性向上推進委員会について

Q・委員会ではどのような取り組みをしているのでしょうか？

A・介護業界においても人材不足の課題があり、生産性を求めていかなければいけない状況となっています。介護ロボットの導入や業務の見直しなどを行い効率化も求められている為委員会ではコンサルタントを招き、他事業所の取り組み状況を教えていただいたり、事業所の課題抽出、対策の助言をいただきながらすすめています。

【管理者より】

令和 8 年度第 1 回の運営推進会議にご参加いただきありがとうございます。

ご質問等いただき、施設として支援、ご協力できることがあれば対応、改善をしていきたいと思いをします。

4 月に人事異動があり男性職員も 4 名となりました。今までは 1 名であったので男性職員が現場に入ることによって業務が円滑に進む面もあります。うち 1 名は新採職員なので指導、育成を行っていきます。

会議は 2 カ月ごとに開催しますので、次回は 1 月を予定しております。次回もご出席のほどよろしくお願いいたします。本日はお忙しい中ありがとうございました。